市民版

ちょうふの自然だより 2009.12.1 vol.

発行:ちょうふ環境市民会議

発行数:1000 部

力 一山で見つけた赤い木の宝 ヤブコウジ









学年は何故かドングリが 豊作。入間樹林やカニ山、 踏みしめるほど。調布でク マやリスを見かけないのが 残念なくらい。 の方達がマテバシイのドン グリでこんなすてきなブロ

無くなるもの?



なぜか道路の拡張工事がされています。 このケヤキ並木は無くなってしまうの? ぜひ行政に訊ねて次号でご報告したいと思い 12/5 農家の庭先でホーリー の枝が売られていました。葉 は日本のヒイラギ(モクセイ 科)と似ていますが、こちら はモチノキ科。ホーリーには チャイニーズホーリー・西洋ホーリー・アメリ カホーリーと3系統あるようです。





調布の自然 鳥編 この冬を調布ですごす冬鳥を観察しませんか。

街中で木の葉が色づき出す頃、調布で冬を過ごす鳥た ちが北や南の各地からやってきています。「ちょうふ」 を越冬地に選んでくれた彼らに敬意をこめて、彼らの生 活を邪魔しない程度に観察させていただきましょう。

ハヤブサ: 市内で見られる可能性のある猛禽 の王者です。威厳のある髭と胸の斑と、スピ ードのある飛翔力を生かした戦闘能力により 怖いもの知らずのカラスたちも一目おいてい るようで、あまりちょっかいを出しません。

今年も多摩川住宅のあたりに出現、ドバトが餌食になり ました。(ハヤブサは留鳥)

ジョウビタキ: 住宅街の道で、どこからとも 無くヒーッヒッと聞こえてくる方向を探して いたらテレビアンテナの上に一羽、尾っぽを

上下にこんにちわの仕草。オスは眼の周りが黒いのが特 徴でメスとの見分けが簡単です。

アオジ:チッチッチッと草むらから開けた ところでエサを捕っています。胸の色が 緑色がかっており、濃い斑が目立ちます。

その他 ツグミ・トラツグミ・シロハラ・ホオジロ・ 入カシラダカ・メジロ・ウグイスなどもよく見られます。

(環境モター:里)

地元生まれの戸部英貞先生に、ちょっと昔の調布のようすを連載していただいています。

多摩川今昔⑩

続 野川・仙川

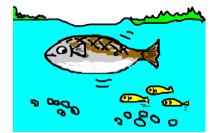
野川や仙川が今のように夏の渇水期には干上がるような川になった一番の原因は、前回にも報告したように雨水が地下に浸透せずに、下水に流れるようになってしまい、その結果、伏流水が減少して湧水が枯れてしまったためなのです。

川幅の狭い川にとっては、台風など の豪雨も川面に降る水量は限られた もので、あふれ出るようなことはあり ませんでした。しかし、世の中の近代 化と共に人口が増加し畑地や山林が 減少、住宅が増加するのに比例して地 下水が減少しました。これは雨量が減 少したのではなく、屋根に降った雨が 地下には浸透せず、下水路を通って川 に流れてしまった結果です。そのため 豪雨のあと川の流量が急激に増し、あ ふれ出るのを防止するため河川改修 と称し、コンクリートで護岸をする。 すると川は川底を削るため、三面舗装 され、生き物が生存できない下水路と 化してしまう。コンクリート護岸で固 められた仙川は浄化能力もなくなり、 汚れが多摩川に流れ込むのを防ぐた め、合流点の二子多摩川には大がかり な浄化施設が作られているのが現状 なのです。

機械泉(砂利穴)

かつて多摩川の沿線には数多くの砂利穴があり、調布市内にも現在の多摩川住宅の南東域、多摩川原橋 西に砂利採取のため機械堀が行われていました。

鉄道の発達やコンクリートの建造物の増加等で砂利や砂の需要が高まり、それ以前は河川敷で人の手で行われていた砂利採取が川に近い低湿地で機械を使った大がかりな採取が行われるようになっていました。子供の頃一部を除いては採取が終わっていましたが、すり鉢状に掘られた穴はそのまま残っており、水深が深く地下から湧出す水が冷たく、親からは絶対に近づいてはいけないと言われていました。



砂利の採取が行われていた時は 立ち入りが禁止されていましたが、 多摩川の氾濫時に取り残されたと 思われる魚が多摩川よりも密度が 高く棲息し、砂利採取が行われなく なってからは、専門の漁師が捕獲し たエビやザリガニ、シジミなどを売りに来ました。

こんな場所は子供にとっても 魅力で、親には内緒で出かけたも のでした。水辺を歩くと、砂利が 崩れ込むため水草も少なく、何よ りも透明度が高く、潜ってシジミ 採りやモエビやアメリカザリガ ニ、釣りをすればコイ、フナ、オ イカワ、クチボソ等を手にするこ とが出来ました。

透明度が高いので、転がっているシジミを拾いながら深く潜りすぎると、夏の日照りで温められている水は表面だけで、少し深く潜ると、心臓が締め付けられるようなさ冷たさで、あわてて浮き上がる怖さもあったのです。

こんな砂利穴が埋め立てられるとき、子供心に埋められるに連れて魚たちが寄せられてくるだろうと期待していましたが、結果はすべての生き物が生き埋めになってしまいました。将来、化石にでもなって発掘されるかもしれませんね。(完)

編集部から

子供のころによく遊んだ実体験からの「昔の調布」の貴重な記録です。ありがとうございました。

次号から「花」をテーマに連載をお願い しました。お楽しみに。

◆野川で遊ぶまちづくりの会

田んぼの植物 (田んぼの学校から) ~二番穂~

秋、私たちの田んぼでも稲刈り、 脱穀、籾すり、精米が終わり、11 月23日に収穫祭を行いました。今 年は激しいスズメの食害にあい、収 量は少なくなりました。モグラの害 にも悩まされました。

そんな賑やかだった田んぼも、晩 秋の今は点々とイネの切り株が並ぶだけになりました。カエルもヤゴもバッタ達も姿を消し、落ち穂を拾いに来ていたスズメ達も、夕方盛んに飛び交っていたアブラコウモリ

実をつけようとしているのです。

多年草や木の場合は、養分を来年 に持ち越せるので無理なことはし



ません。その時に体力がなければ、その年は花や実をつけないこともよくあります。しかし、一年草は種子だけが越冬することになるので、できる限りを実につぎこむのです。

何はともあれ、この 二番穂もスズメ達の 餌になるのでしょう。

来年はお手柔らかにお願いしたい ものです。

(田んぼの学校 Y.I.)

活 動 記 録 コーナー ____

◆入間・樹林の会

10月18日(日)参加者6人で方形枠調査とごみ拾いをしました。樹林地内を巡回しながら、日当たりを考慮し、シュロ、シロダモ、スギなどの伐採を確認しました。また、11月22日には、雑木林塾でのフィールドとして方形枠調査をするので、通路脇に丸太を並べ道筋をつけました。犬か猫を埋めたのか、真新しい花束も置かれていて対処に困ります。

11月15日(日)、入間地域福祉センタ ーが3ヶ月間使用できないため、駐車 場にある物置から道具を持ち出しまし た。雑木林広場の笹刈りをする予定で したが、放置自転車 2 台の処理やごみ 集めに時間をとられ整備には至りませ んでした。落葉が始まっているにもか かわらず、樹林地内は薄暗く、伐採し たいスギの再確認をしました。来月に はシュロの伐採を予定しています。ツ バキの林では、少し伐採されたせいか 今年は花がよく観察できます。他にツ ワブキやキチジョウソウの花、ヒヨドリジョウゴの 実も見られました。また鳥(ヒヨドリ・ アオゲラ・メジロ・シジュウガラ)の さえずりもよく聞こえました。赤い紅 葉を楽しむ樹木はツタしかないので寂 しいとの感想もありました。(安部記)



ツワブキ



ヒヨト゛リシ゛ョウコ゛



キチシ゛ョウソウ

◆若葉の森の会

10月11日(日) 晴天 参加者6名 念願の落ち葉溜め作りに取り掛かりました。恒例の小木の伐採。その後、落ち葉溜め作りの準備として、竹の切り出しと杭作りを行いました。竹の切り方や鉈の使い方などを学びました。

10月22日(木) 晴時々曇り4名 落ち葉溜め作りの準備として杭作 り、そして恒例の小木の伐採、花壇 周りの草取りを行いました。

11月7日(土) 晴 参加者6名 経験者の都合により、本日はいよい よ落ち葉溜め作りに取り掛かる。予 定していた時間を大幅にオーバーし ましたが、ついに完成しました。

11月8日(日)晴 参加者6名 本日は、新人2名が参加。小木の伐 採と後片付けと腐葉土の流出防止の ために散策道入口部に水止めを作り ました。後日、効果を確認しました が、見事に成功しました。

11月19日(木) 曇りのち雨 2名 大坂沿いのアズマネザサ刈りと落ち 葉掃きを行いました。落ち葉は早速、 落ち葉溜めへ。 (住田)





◆カニ山の会

11月14日(土) 雨 参加者6名 雨のため、たづくりで今後の活動方針について話合いを持った。

- ・高木により日光が遮られているエリアについて試験的に数本の間伐を行い、樹木の生育や林床の変化をみる。そのため間伐の計画書を調布市に提出し、都の許可を得るよう依頼する。
- ・調布市に深大寺自然公園の全体計画についての出前講座を依頼し、カニ山の会で管理作業が可能なエリアについて検討する。
- ・活動紹介等の広報板の設置については、市と協議を行う。
- •12月の活動において、隣接する家屋にカニ山の会のお知らせを行う。
- 年1回程度一般向けイベントを企画する。
- ・当面の間、小島が企画運営を行う。 などのことが決められました。

(活動報告より)

◆環境モニター

10月10日(土)

NPO自然環境ア カデミー多摩川外来 生物調査事務局の方 と多摩川にはびこる アレチウリ(特定外



来生物)の調査を行いました。今回で4年目になりますが年ごとに状況が変化するのが分かります。アレチウリが少ないときはクズがはびこるなどの状況を見ていると単に刈り取れば良いとも言えないようです。NPOの方のお話によると10年は調査を続けたい、とのこと。どんな調査結果が読み解かれるか楽しみです。

11月7日(土)

カニ山周辺の観察を行いました。 今回は根本先生から雑木林の成り立 ち、などのお話を伺いながら観察し ましたので、いつもの植物調べとは また違った見方ができ面白かったと 思います。(鍜治)

☆ 環境市民 エコ活動カレンダー & おしらせ ☆

雑木林塾開催中!

9月に開講した雑木林塾。11月までで全体の半分が終了。

24人の塾生が調布市内の雑木林の歴史や自然広場あたりの 現状の観察から始まり、安全管理の講習を受け、ノコやカマの実 習。そして方形枠を使った植生調査などを学んできました。1回 ごとに感想や意見を話合いながら進めていますので、自然への理 解も深まってきたように思います。

次回 12/13 は多摩市の「炭焼き」の活動の見学を予定しています。 《主催:調布市 企画運営:ちょうふ環境市民会議》



◆ 私のおすすめ本◆

高村弘毅 著 丸善株式会社刊

東京湧水 ーせせらぎ散歩ー

この本の目次のところに簡単な 東京の地図があり、湧水の場所に

青い〇が付けられているのだが、中でも国分寺崖線に沿って、いくつもの〇が並んでいるのがはっきりわかる。

全体で 80 箇所余りの湧水が紹介されており、水温・湧出量・電気伝導度・水素イオン濃度・主要成分といった化学的データも載っている。筆者が言うように水環境はその土地の健康のバロメータなのだ。

調布市内では深大寺と神代農場、実篤公園がとり あげられているが、調布以外のどの場所を見ても水 と緑に彩られた写真には心がなごむ。国分寺崖線の 水と緑は是非とも後世まで守っていきたい調布の宝 物だ。

Schedule Schedule 全ての会でメンバー随時募集中! Schedule

◆カニ山の会

原則毎月第 2 土曜に深大寺自然広場東 樹林の保全活動を行っています。参加希 望の方は集合場所(野草園横)へ直接お いで下さい。

年会費500円+保険料

- 12/12 (土) 10:00~12:00 /樹林の保全活動
- 1/9 (土) 10:00~12:00 /懇親会

問合せ 環境政策課 042-481-7086

◆入間・樹林の会

原則毎月第3日曜に活動しています。参加希望の方は直接入間地域福祉センターへおいで下さい。

- ●12/20(日)9:30~12:00 /活動終了後もち焼き等でご苦労さん会
- ●1/17 (日) 9:30~12:00

/方形枠調査 その他 問合せ 環境政策課 042-481-7086 または緑と公園課 042-481-7083

◆若葉の森の会

原則毎月第2日曜に若葉町第3緑地で 会員外参加者は参加費200円

保全活動を行っています。参加希望の方 は直接若葉町3丁目第3緑地へ。

●12/13 (日) 9:30~12:00 上記以外の日程もありますので詳細は 緑と公園課 481-7083 へ

※各樹林地の保全活動は、調布市との協働でおこなっています。詳細については、記載の担当課にお問合せ下さい。

◆環境モニター

● 12/5 (土) 9:30~12:00 /そぞろ歩き下見 (深大寺北町あたり) 1月はお休みです。

問合せ:環境政策課 042-481-7086

◆野川とハケの森の会

- ●12/12 (土) 10:00 カワセミ館集合 /野川清掃
- 1月はお休みです。

問合せ:070-5566-3437 (大山) http://www.ne.jp/asahi/nogawa/hake/ 入会方法: HP のメールから、または イベント等随時(入会金 2000 円) 会員外参加者は参加費 200 円

環境市民活動団体交流イベント

実行委員会

<参加団体募集中!>

◆12/8 (火) 19:00~21:00 たづくり 1002

2/28 の交流会で講師の先生にお話いただく内容と進行形式について。

◆1/26(火) 19:00~21:00 教育会館 202

本番 2/28 の準備作業など

【編集後記】

- ◆深大寺北町あたりは農家が多く、「なんて 静かないい所」と気分よく歩いていたのに、 道路の拡張工事に遭遇。両側のケヤキ並木は 一体どうなるの?(NK)
- ◆12/2 深大寺の 1025 年目の中開帳。

高さ2メートルの 元三大師を拝観。 今年は境内の紅葉 も一段と色鮮やか。

(江刺)



市民発 ちょうふの自然だより

この「自然だより」は2009.3.15 に設立された「ちょうふ環境市民会議・広報部会」が隔月で編集発行、身近な自然情報を発信しています。自然に関する情報や写真など、いつでもhttp://chofu-kankyo-shimin.org/までお寄せ下さい。 あなたの

現在、調布市環境政策課、市内各図書館、地域福祉センター、郷土博物館、曼珠園さん、みさと屋さん、実篤記念館、あくろす2F・3Fの情報コーナー、たづくりみんなの広場 などに置いてあります。次号は2月の初めに発行予定です。

'ちょこっとエコ応援"まっています。 発行:ちょうふ環境市民会議

ホームページにカラー版を掲載。ちょうふ環境市民会議→自然だより でご覧になれます。